

寛文8年(1668)、鹿島藩3代藩主鍋島直朝は、小城出身の黄檗僧梅嶺道雪を招いて、能古見の水滴庵の旧地に円通山福源寺を再興しました。さらに延宝4年(1676)、久保山に円福山普明寺を創建し、菩提寺としました。その開山として迎えられたのが、梅嶺が本山万福寺へ登ったのち、その跡を継いでいた桂巖明幢です。

直朝・万子姫(のちの祐徳院)夫妻は桂巖の厳しい禅の教えを受け、万子姫は後に、現在の祐徳神社の敷地内にあった黄檗寺院祐徳院の開山となり、禅の道を極め、瑞顔実麟大師として崇敬されました。直朝の次男であった4代藩主直條以下、歴代藩主達も深く黄檗宗に帰依し、広く全国の有名な黄檗僧達と交わりを続けていました。

今回の特別展では、鹿島市内の黄檗宗寺院や祐徳神社に伝わった黄檗宗関係の古典籍・絵画・道具類などを展示し、黄檗文化の一端を皆様にご紹介したいと考えております。



黄檗文化と鹿島藩

おうぼく

特別展

梅嶺道雪の遺稿 寛文八年(1668) 鹿島藩主鍋島直朝の御筆 梅嶺道雪の遺稿 寛文八年(1668) 鹿島藩主鍋島直朝の御筆 梅嶺道雪の遺稿 寛文八年(1668) 鹿島藩主鍋島直朝の御筆

平成22年

5月12日水～6月2日水

8:30～16:30 観覧無料 別途祐徳博物館の入館料が必要です

祐徳博物館 TEL0954-62-2151

〒849-1321 佐賀県鹿島市古枝乙1689 祐徳稲荷神社外苑



- ◎主催 「黄檗文化と鹿島藩」実行委員会
- ◎後援 鹿島市 鹿島市教育委員会 佐賀大学地域学歴史文化研究センター 祐徳稲荷神社 普明寺 福源寺
- ◎協力 黄檗宗西日本地区協議会

